

保育所等訪問支援

(別紙5)

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センターあはは

公表日 令和8年3月14日

利用児童数 9

回収数 8

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3	1	0	4	園の環境についてでしょうか？	支援の際に使用した教材などの情報をわかりやすく伝えていけるよう努めています。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4	1	0	3		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	8	0	0	0		
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	6	2	0	0		
適切な 支援の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	8	0	0	0		
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	1	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7	1	0	0		
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	6	0	0	2		
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	0	0	0		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	6	0	0	2		
保護者への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0		
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1	0	3		
	15	必要などきにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	6	1	1	0	訪問の記録のやりとりのみ行っている。	ファイルだけでなく、必要な際に保護者さんと伝え合える機会を増やしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	1	1	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	0	0	2		
	18	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	0	0	2		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	1	0	0		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	7	1	0	0		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	7	1	0	0		

	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	8	0	0	0	訪問の記録と保育士からの報告がある。	
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	0	0	6		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	5	0	0	3		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	0	0	3		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	7	0	0	1		
	28	事業所の支援に満足していますか。	6	1	0	1	ありがとうございました。	

保育所等訪問支援

(別紙7)

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターあはは		公表日 令和8年3月14日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1	0	教材は実物が持ち運べないものは写真などで呈示している。お子さんにわかりやすいものを用意したいが、園の先生方の負担にならないような提案や工夫の仕方をしていきたいと思う。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	0		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	0	訪問前に確認を行ったり、訪問後の報告や相談を行っている。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	0		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	0		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	0		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	1	0	法人内で、グループスーパービジョンやファシリテーションを学ぶ研修がある。	
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	1	0	アセスメントの視点がまだ不十分である。保護者のニーズをアセスメントしたり、モニタリングの方法を見直す必要がある。	相談支援専門員や児童発達支援管理責任者とニーズの整理ができていないため、担当者会議の意義を明確にする必要があると感じています。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1	0	延岡市療育強化事業あそびの教室こ・からに参加しているケースがほとんどであるため、携わる保育者と連携をおこなっている。	センターの職員が、保育所等訪問支援事業とあそびの教室こ・からが連携すべきことを自覚できるよう努めます。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1	0		相談支援専門員が開催する担当者会議、事業所内で行うケース検討会議の際に見直しを行い、お子様の支援に役立っているかを確認しています。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1	0	・児童発達支援管理責任者が計画作成のための個別支援会議やモニタリングを通して訪問支援員と協議する機会を設けている。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	0	・アセスメントツールを用いているものの、アセスメントの結果を生かした支援が十分できていない。	訪問先や保護者が理解し、納得できる支援内容になるよう努めます。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	1	0		支援内容が抽象的で訪問先の保育士が理解できているかどうか疑問を持つような場面もありました。今後そのようなことにならないよう努めます。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1	0	支援計画が指標となるようその都度確認するよう努めている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	0	複数で支援に入ることは少ないが、前回の振り返りや今後を見据えての計画を立て、相談をしてから支援に入るよう努めている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	0	事前の打ち合わせ、振り返りはできている。	訪問支援員、専門職(作業療法士・言語聴覚士等)でミーティングを行い、支援の振り返りを行っています。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	1	0	相談支援専門員主催の担当者会議や初回の行動観察等において、訪問先の理念や雰囲気、職員配置等把握できるよう努めている。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	1	0	訪問時には保護者の方に対し、支援の記録(ファイル)を記入し確認をしてもらい保護者、訪問先からコメントをもらい、共有できるようにしている。		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1	0	訪問先の意向の確認の方法を工夫する必要がある。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	0	必要に応じて保健師（おやこ保健福祉課、障がい福祉課）、教育委員会、移行先の小学校と連携をおこなっている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	0	年長児では、移行支援を行い学校との引継ぎ会を開催し、その会議に参加し情報の共有をしている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	1	0	保健師や公認心理士、作業療法士等から助言をもらっている。	
	24	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	0	自立支援協議会子ども支援部会に参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	1	0	・その日に行った支援については保護者の方に個別ファイルを見て確認してもらうように取り組んでいる。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	0		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	1	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	1	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	1	0	モニタリングに参加し、情報を共有する機会を設けている。	相談のできる場を積極的に設け、相談に対するお答えに対して悩みが解決するような助言を行えるようにしていきたいと思っています。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	1		保育所等訪問支援のご家族が交流する機軸は設けていない現状があります。今後工夫していきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	1	通信等はないが、個人ファイルで様子を伝えるようにしています。	個人ファイルを活用し、支援の様子を丁寧に伝えられるよう努めています。
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1	0			
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1	0			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	1	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1	0		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1	0	ファイルを通して行っています。	個人ファイルでその日の様子を丁寧に伝えると共に、モニタリングや担当者会議を開催し情報を共有できるように努めています。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	1	0		

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		1	保育所等訪問支援事業を申請している保護者に対しての周知はできていなかった。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1	0	法人内で、虐待防止について研修で学ぶ機会を設けています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	0		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターあはは		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保健師、学校(教育関係)などの機関と連携を図っている。	障がい福祉課、おやこ保健福祉課とは連携をとっており、情報を共有する機会を多く持っている。また、小学校への引継ぎ等も相談支援専門員や児童発達支援管理責任者主催で担当者会議を開始し、引継ぎを行っている。	子どものライフステージに沿って、保健医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関が連携を図り、切れ目なく支援できる体制を作っていく。
2	専門職の職員を配置し、様々な観点から多職種連携を図ることができる。	多職種でそれぞれの専門性を生かし、様々な角度から子どもを観察し、支援の方向性を見極めチームで支援を行っている。	事業所内だけでなく、他の事業所との連携も含め、多方面から子どもの支援を行えるようにしていく。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園、幼稚園のカリキュラム(保育所保育指針・幼稚園要領等)を職員が学ぶことができていない。	訪問先施設の理念、支援の方法・人員の配置などを十分理解した上で訪問支援を行うべきであった。	保育指針や幼稚園要領を学ぶ機会を設ける。訪問先のアセスメントを丁寧に行う。
2	支援の知識、技術等の習得が不十分であった。	子どもや家庭の状況などアセスメントを十分に行えていなかった。職員の技術不足であった。	訪問先支援の職員に対し、支援の必要なお子さんの強みやどのような意図を持って支援を行ったのかなど理解していただけるよう伝え方の工夫を行う。 支援に関わる人材の知識・技術を高めるために職員同士が主体的に学びあう体制を作る。
3	訪問先に満足してもらっていない状況があった。	対応していただく職員の立場、経験年数などを理解した上でのお話ができていない。	訪問先のアセスメントを十分におこなった上での支援方針をセンター内で協議できるような体制を作る。

保育所等訪問支援

(別紙6)

公表	訪問先施設からの事業所評価の集計結果
----	--------------------

事業所名	公表日	2020年3月30日
児童発達支援センターあはは	利用児童数	5
	回収数	4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	4	0	0		
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	4	0	0		
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	4	0	0		
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	4	0	0		
5	事業所からの支援に満足していますか。	4	0	0		
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・困り感に寄り添い対応してもらっている。 ・質問したことに対して、本や物など参考になるものを用意してもらっている。 ・私たちが気付いていなかったことも気付いて下さり、本当に支えていただきました。 ・毎回助言いただきとても助かります。 ・毎月1回様子を見ていただけることが保育士にとって、とても心強いです。 ・色々なお子さんをお預かりする中で、色々な状況をふまえてアドバイスをいただけるのがありがたい。 ・日々、行っている保育の中にどのように反映させていくのか考えるのが勉強になります。 ・保育の取り組みや、利用児の姿をどこまで保護者に伝えてよいのか…と思うことがあります。 ・ファイルで保護者とやりとりはしているが、大きな変化を伝える場面が少ないので、保育所等の必要性が薄くならないといいなと思う。 					<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へ伝え方では、訪問時に今現在取り組んでいることを言語化し、お子さんの様子や園での取り組みや環境などを共有できるように工夫してまいります。 ・発達支援では、劇的な変化には時間がかかります。だからこそ、関わりや環境によって変化したお子さんの些細な変化に気付き、園の先生方と一緒に共有しながら、保護者の方へお伝えできるよう工夫してまいります。 	